



市民スタッフ (G-free) 紹介

◆◆ 林 秀夫 ◆◆



私の住んでいる地域で伝わる民話が2003年に市民の劇場・創作音楽劇「おくわ堤」公演として取り上げられることになり、練習風景からビデオ撮りをお手伝いさせていただいたのが始まりです。2004年には、「尾なし龍」の中国公演にも参加させていただき、貴重な体験もしました。この春までの2年間は岐阜市50校区の伝統文化や習俗を掘り起こし、後世に伝えるためのビデオ映像記録「スローライフぎふ」作りのため、市民スタッフ活動に全力を注げず皆さんにご迷惑をかけ申し訳ないと思っています。

◆◆ 山本 隆 ◆◆



映画好きの私は、現役のころから、ぎふアジア映画祭に興味を抱いていました。ボランティア活動も、8年の月日の流れ充実した毎日です。映画との出逢いは柳ヶ瀬に10の映画館がひしめいていた青春時代、日本映画、アメリカ映画全盛の中で土、日曜日は映画鑑賞の毎日でした。映画は人生の縮図、これが私の映画への想いです。映画には製作者のメッセージが込められています。同じ映画でも年を経て観るとき、メッセージの内容も違って感じられます。それが映画の面白さではないでしょうか。



集え！！市民スタッフ！！

私達と一緒に、文化ボランティアに参加しませんか？

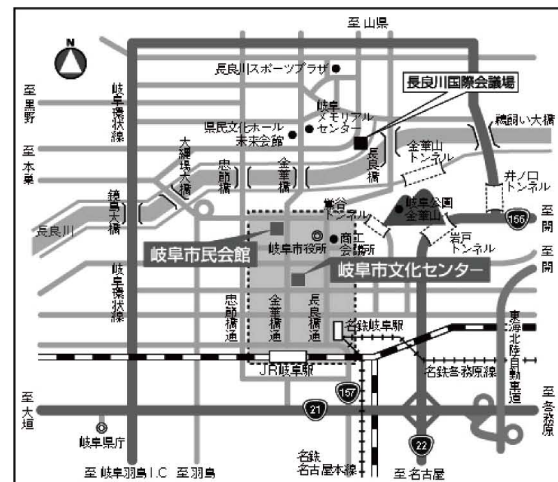
詳しくは文化センターまでご連絡下さい。

【活動内容】

- *ぎふアジア祭の運営（作品選定・企画・広報等）
- *文化事業の新規企画
- *市民会館・文化センター主催事業の補助（受付や案内等）
- *カメラ・ビデオなどの記録撮影
- *ホームページ・会計報告 などなど・・・



イラスト G-free・michiko hayashi



岐阜市民会館

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地
TEL 058-262-8111 FAX 058-262-8114
<http://www.k5.dion.ne.jp/~civic/>

岐阜市文化センター

〒500-8842 岐阜市金町5丁目7番地2
TEL 058-262-6200 FAX 058-262-6229
<http://www.k4.dion.ne.jp/~culture/>

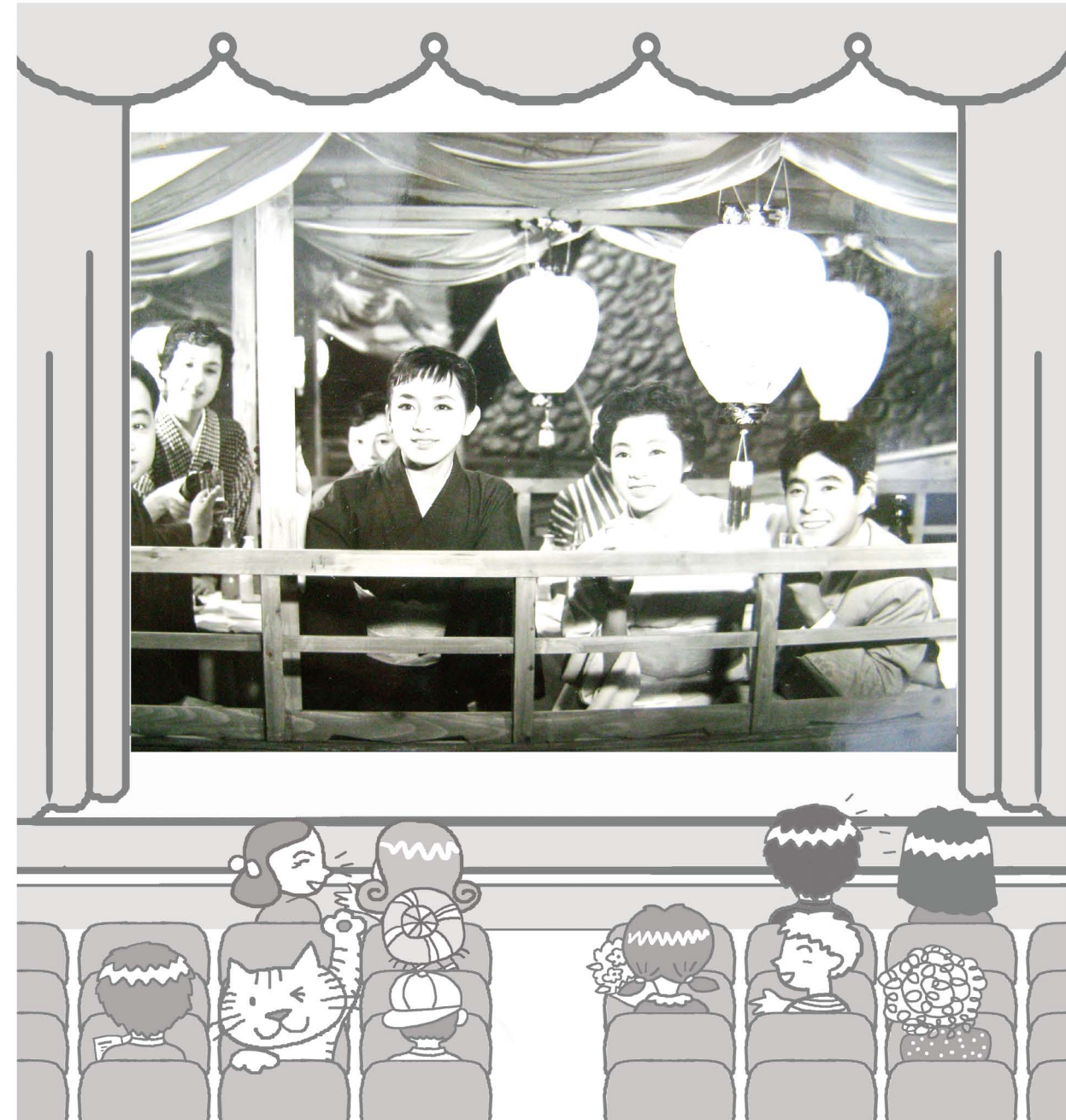
G-free

第5号

G-free

第5号

平成21年5月1日



平成21年5月1日



第 30 回ぎふアジア映画祭を終えて

G-free 大江 繁美

岐阜市消防音楽隊によるオープニング演奏で始まった第 30 回ぎふアジア映画祭は、11 作品の上映とゲストトーク（翻訳家水野衛子さん、脚本家古沢良太さん）、裁判所ツアー、中国茶サービスなどの企画も交えて 12 月 6 日に無事終了しました。岐阜市文化センターのロビーでは過去の映画祭のポスター展示も行いました。

第 24 回から市民スタッフとして私たちが関わるようになりましたが、このように長い間続けてこられたのは、岐阜市の文化事業に対する深いご理解と、またこの映画祭を支えてこられた多くの行政の方々、そして市民ボランティアのご協力と、映画祭を楽しみにしていただいている市民の皆様の御陰と感謝しています。このような事が評価され、シネマ夢倶楽部の第 3 回シネマ文化賞を受賞いたしましたことを報告致します。



ゲスト：脚本家・古沢良太さんと映画祭スタッフ！！



裁判所ツアー



岐阜市消防音楽隊によるオープニング演奏



ゲスト：翻訳家水野衛子さん



中国茶サービス

（財）日本ファッション協会 「シネマ文化賞」受賞

（財）日本ファッション協会「シネマ文化賞」とは・・・？
映画を通して、文化や生活、社会の発展に貢献のあった団体、地域、行政や企業に贈る賞。

「アジア映画祭が始まって以来30年間、このままやっていけるのかと不安にかられた年もありました。その「ぎふアジア映画祭」が、表彰されるのは、大きな喜びである以上に、私達・岐阜市民にとって、大変名誉な事であると思っています。私達の映画祭を認めて下さって、本当にありがとうございました。」と表彰式で述べさせていただきました。

長年、アジア映画祭に関わられた多くの方々、そして、今現在の市民ボランティアの皆様、本当によく頑張ってきました。これを励みに、今後、ますます地域文化の発信とその振興に貢献するような岐阜らしいユニークな映画祭にしていきたいので、皆さんぜひご来場ください。

ぎふアジア映画祭実行委員会委員長 平井 花画

- ★シネマ夢倶楽部賞
 - ・松竹株式会社
 - ・株式会社ギャガ・コミュニケーションズ
- ★シネマ文化賞
 - ・ぎふアジア映画祭

- ★ベストシネマ作品
 - ・第1位「おくりびと」
 - ・第2位「歩いてても 歩いてても」
 - ・第3位「胡同の理髪師」



受賞式での平井委員長



市長への受賞報告

そして、第 31 回に向けてまた一步を踏み出しました！

第 259 市民の劇場
市民スタッフ企画 vol.6

岐阜ロケ映画「白い魔魚」を終えて

【会場】岐阜市民会館（大ホール）

【上映日】平成 21 年 3 月 7、8 日

G-free 坂口 佳子

今回の上映映画、舟橋聖一原作の文芸作品『白い魔魚』はかなりの部分が岐阜で撮影され、公開当時からヒットしたそうです。かつてのロケの様子や、当時の駅、長良河畔の風景を知る方々をはじめ、予想以上に大勢の方にお越しいただきました。

物語は今見ても古びないテーマでヒロインの有馬稲子さんの澁刺とした美貌に青春を感じました。うれしいことに、この企画当初は無理



かとあきらめていた有馬さんの講演会も実現させることができました。壇上の有馬さんは今でも美しく、前向きで、この年代になったなら「こうでありたい」というまさに理想のお姉様でした。

アンケートでも「懐かしい」「もう一度見てみたかった」「よかった」との声が多く、ロビーに設けた映画の公開当時の新聞記事の掲示やコーヒーコーナーも含め、皆さんに楽しんでいただけたと思います。

3月8日
コーヒー屋マスターのドキュメント！！

G-free 石樽 昇司

昨日の映画来場者が 400 人。それから予想すると本日は 800 人か？早めの準備が必要なのでマスターは午前 9 時に市民会館に到着。コーヒー 50 杯どりの抽出に必要なお湯 7 リットルを沸かすため、3 箇所のコンセントを使い、5 台の電動ポットでお湯を沸かしながら連続 4 回 200 杯をたてるべく奮闘します。市民スタッフ集合時間 11 時にはお客様が入り口に並んでます。会館職員&市民スタッフは 11 時 15 分朝礼ミーティング。その最中もお湯の沸いたポットを持って走るマスター。コーヒーを 50 杯とると、フィルターを洗うために水まわりの設備がないカウンターから給湯室に再び走る。急げ、残り時間が少ない。開場時間が 12 時にもかかわらず 11 時 40 分には市民会館入り口に 200 人の行列。混乱を防ぐため予定より 15 分早く開場しました。チケット受付ももどかしように席取のため足早にホール内に向かう人、人、人。コーヒーを求めてカウンターを訪れる人は一人もいません。誰もコーヒーに見向きもしないので少し心配そうなカウンタースタッフ。さあ 200 杯のコーヒーはどうなる・・・？



マスターからのお礼

「白い魔魚」の時はご来店ありがとうございました。市民スタッフ名物企画「映画公開当時の味を再現」コーヒー屋さんの石樽です。映画と一緒にコーヒーも楽しんでいただけましたか？ネルドリップ 50 杯どりの昔懐かしブレンドは、おかげさまで 400 杯完売しました。次回企画でも現れる予定ですので乞うご期待。

